

『善の研究』

純粋経験と実在の本質



純粋経験とは？
- 直接的な生の体験
- （例）音楽に没頭しているとき
- それこそが本当の現実

「現実」と思っていること
- 純粋経験を頭で整理し、言葉にしたものにすぎない

物事の本質を理解
- 頭で考えたり言葉で説明したりしない
- 直接の体験に立ち返ることが大切
- ⇒ 東洋と西洋の考えを融合

自我と意識の統一

「自分」
- 自分の中に「自我」があると思っている
- ⇒ 実はそうではない



意識の統一
- いろんな経験・思考・感情の流れ
- 一つにまとめることで「自分」が形成
- 自分は固定されてなく変化し続けるもの

「無我」
- 流動的で変化し続けるもの
- 自分の可能性を広げられる

善の実現と人生の目的

善とは何か？
- 個人の意志と宇宙の意志が一致した状態
- 自分らしく生き、世界もよくする

人生の目的



- 善を実現すること
- この生き方こそが本当の幸せにつながる
- 個人と全体のバランスを取る